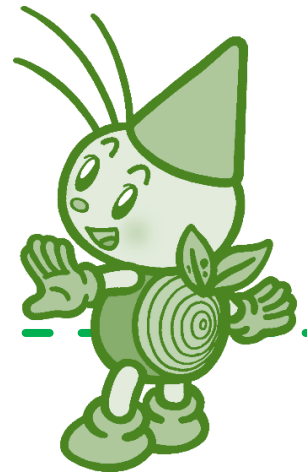


まるいん通信

発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911



屋久島研究講座

屋久島研究講座を以下のとおり開催します。詳しくは財団ホームページをご確認ください。

第1回 世界自然遺産について知ろう！

開催日時	令和5年7月14日（金）19：00～（受付18：30～）
参加費	無料
場所	屋久島町役場本庁 議場（現地受講のみ）
講師	環境省自然環境局自然環境計画課 課長補佐 松木 崇司 氏
申し込み	事前申し込み不要

第2回 黒潮を耕す屋久島とトカラ海峡 ー黒潮とその下流を肥沃化するトカラ・屋久島周辺海域の重要性

開催日時	令和5年7月17日（月）13：00～（受付12：30～）
参加費	無料
場所	屋久島環境文化村センター 及び オンライン配信（ZOOM利用）
講師	東京海洋大学海洋環境科学部門 准教授 長井 健容 氏
申し込み	右のQRコードから事前にお申し込みください。 

第3回 白神山地～マタギのお話～

開催日時	令和5年7月25日（火）19：00～（受付18：30～）
参加費	無料
場所	屋久杉自然館（現地受講のみ）
講師	白神マタギ舎 代表代理 工藤 茂樹 氏
申し込み	事前申し込み不要

失われゆく故郷

インストラクター 小松 純哉（チャド）

長い旅を終え、今年も屋久島に訪れるウミガメたち。みなさんも知っているとおり、屋久島は日本屈指の上陸・産卵地として挙げられています。では、そもそも日本ではどんな種類のウミガメがどこに上陸・産卵するのでしょうか？

日本近海でみられるウミガメは5種類。その中でも日本に上陸・産卵するのは「アカウミガメ」「アオウミガメ」「タイマイ」の3種類です。屋久島でみられる産卵のほとんどが「アカウミガメ」です。「アオウミガメ」は東京から船で24時間の場所にある小笠原諸島が日本最大の産卵地として挙げられ、「タイマイ」は沖縄本島以南での産卵が確認されています。

ウミガメたちは何十年と、この壮大な海を旅しますが、自分の生まれた故郷を忘れないよう目には見えない地磁気を感じ、刷り込むことで覚えると言われています。しかし、近年では海洋汚染や環境変化、土地開発などが地磁気に影響を及ぼすことが明らかになってきました。このままだと、ウミガメたちは道に迷い故郷にたどり着けなくなる可能性があります。

IUCN（国際自然保護連合）のレッドリストに登録されているウミガメたち。その故郷を守るために私たち一人ひとりにできることはなんですか・・・。

参考

NATIONAL GEOGRAPHIC

世界自然遺産登録30周年記念事業

列島縦断！

日本の世界自然遺産ものがたり

屋久杉自然館・屋久島世界遺産センターと共催し、世界遺産や日本の世界自然遺産に関する特別展を開催します。期間中1か月ごとに、日本の世界自然遺産登録地域の1地域をクローズアップして展示を行いますので、皆様ぜひお越しください。

詳しくは関係機関のホームページ等をご確認ください。

会場：屋久杉自然館 1階

期間：令和5年7月20日～令和6年3月20日

クローズアップ展示期間

白神山地	7月20日～8月31日
屋久島	9月1日～9月30日
小笠原諸島	10月1日～10月31日
奄美・徳之島	11月1日～11月30日
知床	12月1日～1月19日
沖縄島北部・西表島	1月20日～2月29日

【7月・8月の休館日】村センター・研修センター休館日は同じです。

7月： 3日（月）・10日（月）・18日（火）

夏休み期間（7/20～8/31）は毎日開館しております。

屋久島を想う

事務員 神田 美貴



子どもと車に乗っていた時ふと空を見ると赤い月が出ていました。

「吸血鬼出てきそうだね」
ブラッドムーン？

帰って調べてみましたが、何日か前がストロベリームーンでした。映像でしか見たことがない赤い月を肉眼で見れてちょっと感動しました。不気味なほど赤かったので、どこかで地震とかないかな・・・と思うくらいでした。翌日、近海で小さな地震があったそうです。

私はよく空を眺めます。屋久島の空はとても美しいです。特に夕焼けの空は色彩が豊かで「空ってこんな色になるんだ・・・」と驚くこともあります。色々な気象条件と自然環境が作り出す芸術だなと思います。空を見ながら、屋久島に住む私たちにとって当たり前のこの景色を守っていきたいと思いました。

